

8月11日祝日 何故「山の日」?

依田林業新聞

皆さんは、なぜ「山の日」が出来たかご存知ですか?調べてみたところ、日本山岳会をはじめとする団体が、「山に親しむ機会を得て、山の恩恵に感謝する」ことを趣旨として国に提案したためとのことでした。しかし、8月11日は山に関する特別な出来事があるなどの明確な由来はなく、休みを連続して取りやすくするためといった理由のようです。

また、漢字の「八」という漢字が山の形に見え、かつ、「11」が山の本々が並ぶイメージであることも、理由の一つだそうです。

「盆休みと連続させやすい利点がある」として、お盆前の8月12日を祝日とする案が採用されたようですが、8月12日は日本航空123便墜落事故と同日のため、その前の11日を山の日と決定された、という経緯があります。

実は、各地方自治体が独自に定めている、地方ローカル版「山の日」があるんです!
ちなみに山梨は、8月8日なんです。やまなしで過ごす「山の日」だそうです。

わたしたちの生活にかかせない

生物多様性の保全
稀少な生物を含め、多種多様な野生動物の生息・生育の場になっています。
世界で唯一、北岳でしか咲かないキタダケシソウ

地球温暖化の防止
樹木が大気中の二酸化炭素を吸収し、炭素を蓄えることにより、地球温暖化の防止に貢献しています。
ハタクシメソウ

木材・食料等の資源生産
環境に優しい資材である木材・きのこの林産物を供給しています。

水源の涵養機能
森林の土壌がスポンジのように雨水を吸収して一時的に蓄え、徐々に河川へ送り出すことにより、洪水や渇水を緩和するとともに、水質を浄化しています。

レクリエーションの場
登山、キャンプ、川遊びなど、さまざまなアウトドア・アクティビティの場を提供してくれます。

山地災害の防止・土壌の保全
樹木が根を張り巡らせることにより、土砂や岩石を固定して土砂崩れを防ぎ、また、下草、低木等の植生や落葉が表土を覆うことにより、雨水による土壌の浸食や流出を防いでいます。

景観の保全 快適環境の形成
森林は美しい景色、川のせせらぎ、小鳥のさえずりなど、安らぎや潤いを与えてくれます。

日本標高TOP3 富士山・北岳・間ノ岳

山梨県

発行所

(有) 依田林業
塩山事務所
総務部

自分より賢い者に負ける方が、自分より愚かな者に勝つよりも得だ。

今月の一言

- 下刈りは、造林木が植栽直後の種間競争に打ち勝てるように、その生育を妨げる草木が生い茂るのを抑える目的で行います。
- 下刈りは最も手間を要する作業であり、また真夏の炎天下での厳しい作業となり、熱中症や、虫刺されなどの危険も大きいので注意しましょう

★下刈りに起きるトラブルと対策★

- ①熱中症 (炎天下は避ける・水分補給・塩分補給・直接皮膚に当たらないタオル等使用する)
- ②身体へのダメージ (低い姿勢で長時間、同じ体勢で作業しないようこまめに休憩をとる)
- ③草刈中に発症するアレルギー (草などで、湿疹、痒みを感じたら、アレルギー検査をする)
- ④下刈り周りは生物の楽園 (蚊や、蜂、毛虫など危険な生物に注意する)

下刈作業注意点